

3.2.2 横須賀無線通信研究センター

活動概要

平成13年度の独立行政法人化に伴う組織再編により、横須賀無線通信研究センターは、衛星系と地上系を包含した無線通信部門の中の一センターとして位置付けられ、従来に引き続き、地上系の無線通信、移動通信に関する技術開発の当所における拠点として活動を進めた。

活動結果

- (1) 新世代モバイル研究開発プロジェクト開始へ向けた準備作業
所内関係部署と連携して、新世代モバイル研究開発プロジェクトの推進体制等について検討し、平成14年度からのプロジェクト開始に備えた。
- (2) タイ国アジア工科大学への教官派遣
タイ国アジア工科大学と当所との協力協定に基づき、当所が進めつつあるアジア地域への海外展開の一環として、平成14年1月から3月にかけて、藤瀬雅行無線伝送グループ長、辻宏之無線アクセスグループ主任研究員、長谷川幹雄無線統合ネットワークグループ研究員を客員講師として派遣し、先端無線通信技術に関する講義を行った。
- (3) 横須賀リサーチパーク（YRP）研究開発協議会共同研究グループを通じた産学官連携の推進
YRP研究開発協議会の活動を通じて、高度交通情報システム（ITS）の共同研究、ミリ波固定アクセス、ミリ波小エリアアドホックシステムの共同研究を積極的に推進した。
- (4) 国際会議の開催
無線通信分野の国内外の研究交流推進のため、YRP研究開発協議会と共催で、「第4回International Symposium on Wireless Personal Multimedia Communications 2001（WPMC'01）」を9月10日から13日まで、デンマークのオールボー市で開催した。今回の会議には、デンマークからアレクサンドラ王女、我が国から総務省の景山大臣政務官が臨席されるなど、両国間の交流が活発に行われた（下図参照）。



WPMC'01風景（左 景山政務官のご挨拶、右 アレクサンドラ王女ご来場）